

教育民生 常任委員会

地域で育む 学校支援ボランティア

学習支援・環境整備・安全パトロールなどの活動を行うため、小・中学校の実態に応じて地域住民のボランティアを配置。児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活に向けた積極的な取り組みを実施する。

学校教育課

誕生した拠点保育園



脳ドック検診助成

脳動脈瘤を発見しクモ膜下出血の防止や、自覚症状のない脳梗塞など脳の病気を早期発見するため、検診費用を助成する事業。予防医療の必要性を認めた。

保健課

介護保険料の仕組み

財源は税金と保険料で、65歳以上の第1号被保険者の保険料は、町が設定する基準額をもとに所得に応じて決まる。要介護者の増加などで保険料が増加する。介護サービスの維持に引き上げもやむを得ないと判断した。

福祉介護課

地域子育て支援センター

名和地区に加え、大山・中山地区に新設した保育園にも設置することになった。親同士の交流や、家庭での育児不安などの相談、子育てサークルなどの育成支援、子育てに関する情報の提供などを行う。

幼児教育課

集団健診の交通費助成

健診（検診）の受診率の向上をはかるため、新交通システム（デマンドタクシー）を利用しなければ健診（検診）が受けられない人に、利用料金を免除する。さらなる受診率の向上を求めた。

保健課

経済建設 常任委員会

下水処理施設を視察



大山恵みの里公社

平成24年度の補助金を検討することを含めて、公社の現状報告などの聞き取りを行った。インターネットを活用したPR事業・給食への食材供給事業・農産加工事業などへの補助に対し異論が出た。

（補助金を決める本会議での議論の内容は7～8ページ参照）

大山観光局と懇談



上下水道施設の調査

町内の水源や下水処理施設など13カ所で現地調査を行った。下水処理施設は、国土交通省補助の公共下水処理施設と、農林水産省補助の農業集落排水処理施設がある。この2つは同じ機能で、距離的に集約可能な施設があるため、以前から集約化を求める意見が出ている。

公社が運営する加工所



関係団体との懇談

大山町観光協会の組織の一つである大山観光局と意見交換を行った。年間のスキー場利用者数や宿泊客数の推移データをもとに、町の観光政策を中心とした議論が交わされた。

また、今後の観光局の事業展開や、スキー場運営会社の経営戦略の説明に対し提案をした。